



附中祭へ！！

前期後半が始まって、一週間が過ぎました。「久しぶり」と夏休みの思い出を話す間もなく、フル稼働で附中祭へ向けての取り

組みが始っています。初日の全校集会で校長先生から「前へ^{なら}倣え」

のお話がありました。「どうして前へ倣えをするのだろうか」というお話でした。列を美しく整える意味もちろんあるけれど、

この動作をすることで、「全員の気持ちが一つになる」ことに意

味があるのだと。「前へ倣え」だけではなく、行進も、ラジオ体操も、集団演技も、応援も、体育部門全ての活動が、「全員の気持ちが一つになる」を目指しているのだと、実感している人が多くなっているなど、この一週間のみんなの取り組む姿勢を見ていて思います。日々気持ちを合わせて取り組もうとしている人が増えています。



実は合唱を始めとした、文化部門の取り組み、附中祭へ向けての係活動も同じですよ。人前

に立つのは恥ずかしいし、声を出すのも苦手だけれど、そんな「自分しか見えていない」殻を破って「それでも恥ずかしがらずにみんなのために、一生懸命歌う、声を出す、踊る、走る・・・」ことを「全員で」やっていく。周りの友達や先輩、先生にも伝わる形で一生懸命やることを成し遂げたとき、どれだけみんなが成長しているだろうと、今からとても楽しみにしています。

附中祭のスローガンである、

「∞の糸」をイメージして、附中生全員で円陣を組んで、取り組みがスタートしました。



ドキドキの

フォークダンス



附中伝統のフォークダンス。伝統継承と言う意味で、3年生が1年生に優しく丁寧に教えてくれました。

「先輩と踊る」緊張のあまり、ガチガチに緊張していました。その後、1年生どうしても踊りました。踊りたかったあの人のところまで、回るかどうかドキドキでした。





男女別集団演技



先週は男女とも振付を覚えるのに精一杯でした。金曜日に見ていた時点では、振りはOKなので、男子は力強さと声の大きさを意識して、女子は笑顔で大きく手足を伸ばすことを意識して、楽しんで踊るレベルに到達しましょう。

相互鑑賞会

自由曲の相互鑑賞会が行われました。8月28日（水）は学年の中で合唱の自由曲を聞き合い、いいところ、改善した方がいいところをアドバイスし合いました。書かれたワークシートを読むと、3組の合唱に対して「表情もみんな明るくて、堂々と歌っていた」「全員が主役のように歌っていた」などの高評価が多かったです。

1、2組は、挽回すべく、鑑賞会後の練習で自分たちの合唱を振り返り、熱のこもった練習をしていました。30日には山口大学からアドバイザーとして高橋先生をお迎えして、3学年縦割りシフトによる、相互鑑賞会が行われました。先輩たちの前で、しかも小学校の体育館のステージに立って歌うということで、とても緊張していたように思います。自分たちの出番が終わってほっとする中、高橋先生がその場で修正を加えてくださり、更に上達できていました。その後、2年、3年の順に歌っていきました。3年生の合唱は、創意工夫もあり、美しいハーモニーで、曲への思い、クラスへの思いがあらわれている素晴らしい合唱でした。「全員の気持ちが一つになる」ってこういうことだよって、先輩たちがまた、教えてくれましたね。



附中祭を成功させるために

- 1、人任せにせず、みんなのために、なんでも一生懸命全力でやる。
- 2、リーダーが指示をだしているときには、目と耳と心で聞く。仲間を大切に。